

# ありがとう45年 未来へとつなぐ酒田の宝物

戸田みつぎ「雪国寸描」(油彩・80号)／昭和 ※資料館開館時に寄贈された作品です。



館蔵品展 その1—文化・娯楽資料—



庄内竿(部分)／昭和



伊藤久内「酒田獅子頭」／昭和



大正・昭和期の酒田の映画館のポスター

令和5年

4月8日(土)～6月4日(日)

会期中無休

5月8日(月)から一部資料を入れ替えて展示します

開館時間◆午前9時～午後4時30分

入館料◆一般200円、高校生90円

小中学生50円(市内小中学生は土日無料)

★5月5日(こどもの日)、5月19・20・21日(酒田まつり)は無料

## 酒田市立資料館

〒998-0046 山形県酒田市一番町8-16

TEL・FAX 0234-24-6544

☑ sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp



# ありがとう45年 未来へとつなぐ酒田の宝物

## 館蔵品展 その1 -文化・娯楽資料-

昭和53年(1978)5月18日に開館した酒田市立資料館も、令和5年9月30日をもって閉館することになりました。今後は、酒田市立光丘文庫とともに、歴史的公文書も合わせ郷土の資料を収集、保管、展示していく施設として、令和6年度に酒田市総合文化センターの市立図書館跡に新たに開館する計画となっております。

昭和51年(1976)10月29日に発生した酒田大火は、中町の中心商店街から出火し、新井田川まで22.5ヘクタール、1,774棟を焼き尽くす未曾有の災害となりました。

当資料館は大火復興の記念として、その被災地跡にいち早く建設されました。それ以前は、歴史的な資料を総合的に収集、保管、展示する施設がなく、火災や生活様式の変化などで失われていく危険性もあることから、地元の歴史や文化を伝える資料を後世に伝えていくことを目的に作られた施設です。

開設以来、市民の皆様や研究者の方、小中高生・大学生などの学習や調査の場としても親しまれ、利用されてきました。

この45年間の入館者数は延べ37万人となり、寄贈、寄託、購入によって現在、約13,000件、60,000点余りの資料を収蔵しております。

収蔵資料は、当地域の歴史・民俗・産業・文化を紐解くための資料として次世代にも残していかなければならない貴重な宝物です。

本展では、当資料館での最後の企画展として、「その1-文化・娯楽資料-」「その2-歴史資料-」「その3-人物資料-」の3回に分けて、展示する機会の少なかった貴重な資料を中心とした館蔵品を紹介します。

第一弾となる文化・娯楽資料としては、酒田ゆかりの画家や工芸職人が残した作品や、娯楽の王様だった映画館の資料などを展示します。

ご来館の上、楽しんでいただければ幸いです。



クロダイの魚拓/昭和13年(1938)  
江戸時代の庄内で、武士のたしなみとして広まった釣り。庄内藩発祥の魚拓は、庄内竿とともに庄内が誇る伝統文化です。



加藤雪窓「雪中鹿図屏風」/年代不明  
※展示期間は4月8日(土)から5月7日(日)までです。



鉄砲屋亀齋「十種木硯箱」/明治  
(酒田市指定文化財)

栗、樺、黒柿など10種類の木材で作った10個1組の硯箱。  
写真は杉。  
※4月28日(金)~5月7日(日)の期間限定で展示します。



有栖川宮熾仁親王の御用弁当箱  
/年代不明

資料館開館の際に、当時の酒田市立光丘図書館から引き継がれて所蔵してきた資料のひとつです。

### 資料館調査員による展示解説

日時/4月22日(土)午前10時~(1時間程度)

会場/酒田市立資料館1階企画展示室

料金/無料(入館料別途必要)

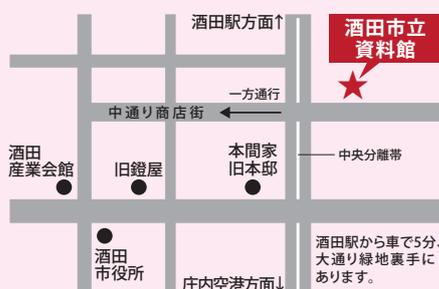
定員/20名

※駐車場に限りがありますので、申し込み時にお問い合わせください。

申込/4月8日から受け付けます。

☎ TEL 0234-24-6544

## 酒田市立資料館



### 〈アクセス〉

◆JR酒田駅から庄内交通バス(約9分)「大通り商店街」下車徒歩1分

◆庄内空港からシャトルバス(約30分)「中町」下車徒歩5分

◆日本海東北自動車道「酒田中央IC」より約10分(駐車場あり)

### 次回予告

ありがとう45年  
未来へとつなぐ酒田の宝物  
館蔵品展その2-歴史資料-

令和5年6月8日(木)  
~8月1日(火)